

# 令和3年度指定管理者評価シート

## 1. 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市地域中核施設プラザノース
(2)施設概要	<p>①所在地 さいたま市北区宮原町1丁目852番地 1</p> <p>②施設の設置目的 市民の生涯学習及び芸術文化情報の発信の場として地域の活性化や地域づくりを支援する活動拠点になるとともに、地域特有の文化資源である漫画をもとにした芸術創造・ユーモア機能を活かした多彩な事業を展開する。</p> <p>③施設の概要(敷地面積:26,015㎡、延床面積:20,278㎡、地上4階建て) 文化・芸術・レクリエーション等の活動の場として地域の拠点となる複合施設 主な施設:●北区役所●北図書館●ホール(403席)●楽屋(5室) ●リハーサル室(3室)●多目的ルーム(227席)●音楽スタジオ(3室) ●和室(4室)●書斎(5室)●キッチンスタジオ●セミナールーム(7室) ●陶芸アトリエ●絵画アトリエ●造形アトリエ●CGアトリエ ●交流スタジオ●ノースギャラリー(8室)●ユーモアスクエア ●自由読書スペース●映写室●遊戯室●託児室●駐車場(183台) 等</p>
(3)指定管理者	プラザノースマネジメント株式会社
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 平成20年5月1日～令和5年3月31日</p> <p>②指定管理料 令和元年度495,988千円、令和2年度503,290千円、令和3年度507,626千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運営業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数 199,504人(前年度123,119人)</li> <li>・稼働率34.8%(前年度24.4%)</li> <li>・利用率64.2%(前年度46.4%)</li> </ul> <p>◇業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の受付・利用許可、使用料の徴収</li> <li>・PR等情報提供、友の会運営、調査・評価・分析</li> <li>・各種文化芸術事業(公演・各種講座・展覧会)の実施</li> </ul> <p>⇒コロナ禍においても年度内計画100%の事業を実施し、事業全体の参加率も87.2%(前年度76.0%)となった。</p> <p>「国際漫画フェスティバル・インさいたま2021」「2021さいたま市 ユーモアフォトコンテスト」「モアYOU寄席 林家たい平 独演会」「ユーモア音楽祭inさいたま『マンガチック音楽会2021』」「ノース狂言会『野村万作の狂言の世界』」「Domain of Art 28 伊藤咲穂展『Origin』」等の大型事業を実施した。</p> <p>●公演</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホール事業では、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、事業計画通りに実施した。まん延防止等重点措置期間に公演日が重なると、事前にチケットが完売となっても当日の来場者数が減少する傾向があった。緊急事態宣言・まん延防止等重点措置期間中に実施した「プラザノース サマーステージ2021」「モアYOU寄席 林家たい平 独演会」「劇団東少 ファミリーミュージカル『白雪姫』」「来日30周年記念 ウェイウェイ・ウー二胡コンサート『歲月之詩』」「ノース狂言会『野村万作の狂言の世界』」では、新型コロナウイルスの感染を懸念して来場しなかった方には払い戻しについて電話連絡及びプラザノースホームページで案内した。新型コロナウイルス感染症対策の工夫した一例として、未就学児から入場可能である「プラザノース サマーステージ2021」では、事前に出演者と相談し、楽器体験や客席での演奏、一緒に歌う等の演出は控え、手遊びやクイズ、ダンス等を中心としたプログラムとし管楽器以外の出演者はマウスシールドをつけて演奏を行い、感染症予防に努めた。参加者からは感染症対策についてアンケートにて高い評価をいただいた。また、全公演について開催制限のあるコロナ禍での開催を感謝する声が多数寄せられた。</li> </ul>

●各種講座

・市の文化芸術資源である「人形」を活かすための推進事業として、岩槻人形博物館に親しむために、3名の講師が異なる視点で語る「郷土・地域の歴史を語る『日本の人形文化とさいたまの人形作り』」を新規で開催した。市の資源を活かした人形文化の振興の機会となった。

・会場に直接足を運ばなくても事業に参加できるコロナ禍の取組として、Zoomを使用したオンライン講座「Zoomを使ってプログラミングに挑戦」を小学4～6年生とその保護者を対象として新規に実施した。2回連続講座で、1回目はプラザノースでZoomの使い方を、2回目は各自宅をオンラインでつなげてプログラミングを学ぶ内容であった。施設に来館するだけではなく、自宅からでも学べる機会となり好評であった。

・新型コロナウイルス感染症対策として、歌唱や発声を伴う「声を出して健康増進！歌って笑って発声講座」や「はじめての長唄」等の講座は募集人数を変更せず音楽スタジオ3（定員25名）から多目的ルーム（定員200名）に、「SNSはじめて講座」「真打ちによる落語入門教室」等の講座は第6セミナールーム（定員24名）から第4セミナールーム（定員36名）で実施する等、広い施設への変更を行うことで密を避けて参加者が安心して参加できるよう注力した。

・夏の大型造形ワークショップ「Domain of Art 27『森のなかまをつくろう！』」では、埼玉県内の新座総合技術高等学校の講師と、デザイン科生徒の皆さんを講師として招き、ワークショップを開催した。教育分野との連携による事業の実施、アーティストと参加者のコミュニケーションを図る機会となった。

●展覧会

・「Domain of Art 28 伊藤咲穂展『Origin』」では、天井から吊るしたインスタレーション作品や、大型パネル作品等、ギャラリーの空間を活かした多くの新作を設置し、来場者が前年度より約500名増となった。

●その他

・ユーモアスクエア内自由読書スペースに、さいたま市の各地にゆかりのある漫画を集めた「さいたま市ゆかりの漫画」を常設配架として新たに設置した。

②維持管理業務の実施状況

◇建築物保守管理業務

・建築設備定期検査[年1回]

・外壁全面打診調査(外壁タイル部分)[10年に1回実施]

◇建築設備保守管理業務

(電気設備)

・自家用電気工作物、非常用発電設備点検(法定点検含む)[各年12回]

(空調設備)

・吸収式冷温水発生機、空冷チラーユニット、空調用ポンプ類、エアハンドリングユニット、外調機、ファンコイルユニット、空冷ヒートポンプ、室内空調機、全熱交換機定期点検、煤煙測定、冷却塔清掃点検[各年2回]

・吸収式冷温水発生器チューブ洗浄、冷却塔補給水槽清掃点検、冷却塔薬剤補充[各年1回]

・空気清浄機定期点検、空調機プレフィルター、中性能フィルター清掃[各年6回]

(給排水設備)

・上水受水槽、雑用水受水槽、井水受水槽清掃、上水加圧給水ポンプユニット、揚水ポンプ、雑用水加圧給水ポンプユニット、冷却塔補給水加圧給水ポンプユニット点検、雨水ろ過装置年次フィルター点検、フィルター交換整備[各年1回]

・汚水貯留槽、グリストラップ清掃[各年2回]

・雨水ろ過装置定期点検、雨水ろ過装置薬剤補充[各年6回]

(昇降機設備)

・エレベーター、エスカレーター点検(法定点検含む)[各年12回]

(消防設備)

・消火器具、自動火災報知設備、避難器具、不活性ガス消火設備、ガス漏れ火災警報設備法定点検[各年2回]

・防火設備定期検査(防火シャッター・防火扉)[年1回]

	<p>◇舞台機構・舞台設備保守管理業務  (舞台)吊物操作盤マニュアル運転動作、吊物操作盤設定運転動作  (照明)主調光卓動作確認、灯体点灯・回路・機材点検  (音響)主調整卓・副調整卓動作確認点検、スピーカー・アンプ出力確認・回路点検、マイクロフォン動作確認・外観点検[各年12回]  (舞台)リモート操作パネル運転動作点検、音響反射板、床面点検・清掃  (照明)フロアポケット清掃、ピンスポット点検・清掃  (音響)周辺機器動作確認・点検[各年6回]  (舞台)備品点検・清掃  (照明)サスバトン・灯体清掃  (音響)ビデオプロジェクター投影・操作卓点検[各年4回]  ◇備品保守管理業務等  ・ピアノ4台定期点検含む調律[年4回]  ◇外構施設保守管理業務  ・噴水水景設備点検、薬注補充[年2回]  ・地下タンク漏洩検査(3年ごとに実施。前回令和2年2月実施、次回令和5年1月実施予定)  ◇清掃業務(定期清掃含む)[毎日]  ◇植栽保守管理業務[通年]  ◇警備業務[毎日]  ◇環境衛生管理業務  ・害虫生息調査[年12回]  ・簡易専用水道、飲料水質、消毒副生成物、レジオネラ属菌検査[各年1回]  ・空気環境測定、大腸菌検査(雑用水・井水)[各年6回]  ◇設備日常運転管理業務[毎日]  ◇駐車場等運営業務実施[毎日]  ◇一般廃棄物収集運搬処理業務[毎週]  ◇産業廃棄物収集運搬処理業務[年4回]</p>
	<p>③その他の業務(自主事業)  ・ホール事業では、前年ショパン国際コンクール出場で話題となった牛田智大氏によるピアノ・リサイタルを開催した。公演情報の告知後、友の会新規入会者が通常は毎月10～20名のところ、チケット発売までの約2か月間で約250名以上の公演を目的とした入会があった。チケットは発売後2日間で即完売となり、北海道や愛知県等遠方からの申込も多数あった。また、公演開催前にプラザノース公式YouTubeチャンネルにて配信した出演者のメッセージ動画は3.7万回もの視聴回数に達し、これらのことから施設の知名度を上げることができたと考ええる。来場者は369名(定員395名)、入場率は93.4%で、新型コロナウイルスの感染を懸念して来場しなかった方には払い戻しについて電話連絡及びプラザノースホームページで案内した。  ・講座事業では市の資源である「盆栽」を活用した事業として好評の「陶芸＋盆栽を楽しむ」講座を引き続き実施した。また、新規講座として、親子で参加する「こども盆栽ワークショップ『はじめての盆栽に挑戦しよう!』」を実施し、盆栽文化と触れ合える機会の拡充を行った。</p>
(6)収支状況	<p>①収入  ・指定管理料 507,626千円(前年度 503,290千円)</p> <p>②支出  ・維持管理業務 175,448千円(前年度 172,366千円)  ・修繕業務費 14,737千円(前年度 19,062千円)  ・コミュニティ、ホール等運営業務費 172,060千円(前年度169,037千円)  ・図書館運営業務費 85,026千円(前年度 83,532千円)  ・駐車場等運営業務費 21,400千円(前年度21,024千円)  ・市の事業に関する運営業務費 38,952千円(前年度38,268千円)</p> <p>【自主事業】  ①収入 5,393千円  ②支出 5,411千円</p>

<p>(7) 利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第7セミナールーム(PC室)利用者より、「Zoom」を使用可能にしてほしいとの要望があったため、使用できるようフィルタリング閲覧制限の設定内容を変更した。</li> <li>・自由読書スペースをご利用の方より、照明の数・距離や照度が低いことに対する指摘があったため、ダウンライト照明29ヶ所のソケットの高さを変更し照度を上昇させた。併せて、特に暗いとの指摘があった2席ヘスポットライトを設置した。</li> <li>・和室利用者より、和室利用者以外の方が通路部分に立ち入っているとの指摘があったため、和室入口に掲出していた「関係者以外立入禁止」の掲示物を目立つよう大きく掲示した。ホールにおいても開場後のセキュリティリスクを鑑みて、「関係者以外立入禁止」のサインスタンドを新たにホワイエに設置した。</li> <li>・ホール来場者より、トイレの洗面台が高く子どもの使用に適していないとの指摘があったため、家族連れが多く利用するトイレ(ホール、多目的ルーム前、1Fトイレ)に子ども用の踏み台を新たに設置した。</li> <li>・書斎利用者より、書斎周辺の利用者による会話や携帯電話使用について苦情があったため、随時対応するとともに書斎周辺での携帯電話使用制限及び会話の際も静かにしていただくよう注意喚起の掲示物を掲出した。</li> <li>・例年実施している利用者懇談会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、前年度に続き従来の懇談会形式ではなくアンケート形式で実施した。5つの団体・サークルの代表者にアンケートを送付し回答いただき、意見・要望を幅広く伺うことができた。要望については関係各所も含め共有・対応を行った。</li> <li>・利用者からの意見・要望への対応については、年度末3月に広報紙「プラザノース通信」及び年2回ホームページでフィードバックするとともに、今年から館内掲示板にも掲出している。</li> </ul>
<p>(8) その他</p>	<p>●新型コロナウイルス感染症拡大防止対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き貸館及び事業において、さいたま市の「新型コロナウイルス危機対策本部員会議」の決定に伴うさいたま市からの示達・ガイドラインに基づき「感染症拡大防止対策」と「正確な情報提供」を念頭にスピード感をもった対応を実施した。</li> <li>具体的には、 <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合インフォメーションカウンター及びプラザノースホームページ、館内で最新情報を随時発信するとともに、全利用者へ制限内容や還付期限について電話連絡を行った。</li> <li>・最新の運営方針については会議等の情報共有の場だけでなく、随時口頭・書面での通知を行い施設内関係各所との情報共有を密に行い、相互連携を行っている。</li> <li>・職員の感染症拡大防止対策については、今年度も引き続きマスク着用や出勤前の検温、手指消毒等の基本的な対策を義務付けた他、総合インフォメーションカウンター及びワーク室内打ち合わせスペースに飛沫防止用アクリルボードの設置を行っている。また、アクリルボード設置による弊害(声が聞き取りづらい)防止のためマイクを使用し利用者と快適にコミュニケーションを取れるよう対応している。管理事務室内においても、体温計設置による出勤時の検温、各職員デスク間の飛沫防止フィルム設置、事務室内の扉開放及び扇風機運転による換気等、感染症拡大防止対策を徹底し実施している。</li> <li>・主催事業については、公演時に検温、設置によるプログラム配布、座席エリア別の時間差退場を実施している他、職員についてはフェイスシールドを着用し対応している。また、埼玉県の実感防止策チェックリストをホームページに公開し感染症対策を実施し開催している。</li> </ul> </li> </ul>

## 2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
利用促進と施設の活性化	<p>●施設の稼働率向上施策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽スタジオ1に利用者より机の使用希望が増加してきたため机1台を常設した(音楽スタジオ1には面積の観点から机の設置はせず使用希望者のみ随時貸出を行っていた。常設後は利便性向上に感謝のコメントあり)。</li> <li>・引き続き低稼働施設の紹介ポスターを作成し定期的に館内掲出を行っている。今年は稼働率が低調な造形アトリエ、キッチンスタジオ、CGアトリエ、第7セミナールームの紹介ポスターを掲出した。また、造形アトリエ、キッチンスタジオ、CGアトリエは総合インフォメーションカウンター設置のモニターにて施設紹介動画を放映し、プラザノース公式YouTubeチャンネルでも上記施設に加え第7セミナールーム(PC室)の紹介動画を配信している。</li> <li>・利用者の高齢化に伴い、ノースギャラリーでは打ち合わせの際に利用者の安全を考え高所作業を行わない展示方法の提案を新たに開始した。</li> </ul> <p>●備品関係改善による活性化策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノースギャラリー備品の取扱説明書を刷新し、展示に不慣れな利用者でもスムーズに展示できるよう改善を行った。</li> <li>・ノースギャラリー備品のピクチャーワイヤーについて、これまで箱収納での貸出を行っていたためワイヤー使用時や原状回復時に煩雑となっていたが、キャスター付きラック収納に変更したことで、ワイヤーの取り出しやすさ及び原状回復時の時間が短縮され利便性向上に繋がった。</li> </ul> <p>●市民の文化芸術活動の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ活動登録制度に登録している団体・サークルをPRする目的として、総合インフォメーションカウンター設置のモニターで利用者紹介動画放映を開始した。現在、ダンスサークルとキーボード教室の紹介動画を放映しており、今後も放映団体を増加すべく引き続き募集を行っている。</li> <li>・主にものづくり団体の紹介をワーク室特設コーナーにて実施しており、今年度はフラワーアレンジメントサークル、造形教室、書道教室、絵手紙教室の紹介を作品と共にを行った。</li> </ul>
情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラザノース公式YouTubeチャンネルに、企画事業講師による講座配信として「おやこヨガ」(2件)、「デジタルカメラ入門」(4件)、「プログラミング」(1件)、アーカイブ配信で楽しむ展覧会事業や公演としてDomain of Art事業(夏の造形ワークショップ・展覧会、冬の現代美術作家によるワークショップ・展覧会 各1件)、「ノースであそぼう! あーとひろばの日」の事業である展覧会と公演(各1件)、他公演出演者のメッセージとして4件など計18件アップした。引き続き映像アーカイブとして配信を続けていく。</li> <li>・テレビ埼玉でさいたま市の情報を届ける広報番組「のびのびシティさいたま市」に「さいたま市 ユーモアフォトコンテスト」が取り上げられ、プラザノース公式YouTubeチャンネルに放映動画である「ユーモアあふれる写真を撮ろう!」のダイジェスト版を配信するとともに、配信情報をFacebook、Twitter、ホームページでも告知し「2021さいたま市 ユーモアフォトコンテスト」を周知した。</li> <li>・前年開設したプラザノース公式YouTubeチャンネルの登録者数は166件となった。Facebook登録者数は前年5月280件が現在314件に、Twitter登録者数は前年362件が526件にいずれも増加した。</li> <li>・ホームページ内施設紹介においては、定期的に更新している掲示物に合わせ常に最新情報を掲載できるよう更新を行っている。</li> <li>・各公演・講座の情報発信については、ネットを通じたWeb掲載や無料情報誌等の媒体等、幅広いツールを活用し実施している。</li> <li>・和室坪庭にある盆栽について、盆栽の入替ごとに盆栽の特徴を紹介するポスターを掲出している。</li> </ul>

ユーモアに係る企画の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漫画文化の振興として「漫画会館所蔵品展『地域文化を知る 楽天をめぐって～楽天の描く人々』」をノースギャラリー7で開催した。事前に実施した「名画鑑賞会」では、さいたま市ゆかりの近代漫画の祖・北沢楽天の半生を描いた映画「漫画誕生」を上映し、展覧会の実施を周知した。</li> <li>・ユーモア事業の講演会2件「写真家・浅田政志トークショー『浅田家流 家族写真のスズメinさいたま』」、「声優・古谷 徹トークショー『声優人生!!55年の軌跡』」では、会場での観覧と会場に足を運ばなくても参加できるようにYouTubeオンライン配信を実施した。特に声優・古谷徹氏によるトークショーでは、会場観覧・オンライン観覧ともに即日定員に達するほど反響が大きかった。オンライン配信では山口県や大阪府等遠方からの参加や、体調を理由に直接来場が困難な方等の参加があり、オンラインを活用した事業で幅広い参画機会を創出することができた。</li> <li>・あらい太朗氏司会の「ユーモア音楽祭inさいたま『マンガチック音楽会2021』」は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、前年に引き続き10名以下の吹奏楽バンドや津軽三味線奏者、うたネタ芸人など少人数でのステージで、バラエティーに富んだ内容を幅広い世代の方にお楽しみいただいた。</li> <li>・若手落語家による落語会「ノース・ぶらっと寄席」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため定員減での開催として、好評につき継続的に実施している。</li> <li>・「『国際漫画フェスティバル・インさいたま2021』『2021さいたま市ユーモアフォトコンテスト』合同作品展」は前年より約170名増となる1,122名の来場があった。また、会場内では「2021さいたま市 ユーモアフォトコンテスト」がテレビ広報番組「のびのびシティさいたま市」で紹介された様子や、番組のダイジェスト動画やテレビ番組を配信しているYouTubeチャンネルの紹介、レポーターのザ・たっちやyuka氏が撮影した写真も併せて展示し、多くの来場者が足を止めて見入っていた。</li> </ul>
接遇レベルや窓口業務改善による市民サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規利用者向けに施設の予約から利用までの流れと、催しの宣伝方法等をまとめた資料を作成し窓口で活用することで、継続したサークル活動のフォローを行った。</li> <li>・年に1回、外部講師による受付スタッフ向けの接遇研修を行っており、毎年プラザノースの現状に即したオリジナルのプログラムを実施している。今年度は「対応力向上のポイントは、一人ひとりの知恵と工夫、その共有」をテーマに、事例研究とロールプレイングを中心に研修を行いスタッフの接遇レベル向上を図った。</li> <li>・Wi-Fi使用の要望増に伴う問い合わせに対応するため、前年作成の「目的別利用可能諸室早見表」に「Saitama City Free Wi-Fi」の使用可能諸室を追加した。引き続きホームページの施設紹介ページ内にリンクを掲載し案内に活用している。</li> <li>・利用者からの指摘や施設運営上の課題解決を目的としたマナーアップキャンペーンを実施した。今年度は「音楽系施設の備品の取扱い」・「感染症拡大防止」・「陶芸焼成窯使用時の備品の取扱い」の3テーマに沿って注意喚起及び啓発を行った。</li> </ul>

### 3. 評価

#### (1) 指定管理者による評価

##### ●市民の平等利用

・「さいたま市コミュニティ施設条例」「同条例施行規則」を遵守し、さいたま市の代行者として平等かつ公正な利用に努めた。

・今年度も新型コロナウイルスの影響で利用者へ様々な制限を協力依頼することとなったが、「さいたま市新型コロナウイルス危機対策本部員会議」の決定を受けた運営方針指示に基づき、引き続き正確な情報を迅速に提供した他、関係各所と協力し利用者目線での安全確保に努め運営を行った。

##### ●市民サービスの向上

・接遇研修では前年に引き続きコロナ禍での利用者対応をテーマとして取り組む等、すべての利用者が快適に安心して利用できるよう市民サービスの向上に努めた。

##### ●利用促進

・共有部に設置しているアンケートや貸出施設利用後の報告書から幅広く意見・要望を取り入れた他、窓口に寄せられる細かい要望についてもできる限り直接コミュニケーションを図り、その要望の内容を書面に落とし込む等細かく把握・蓄積し、迅速に改善を進めた。

##### ●経費の削減

・事業については内容や水準を維持した上でより効率的な内容・効果的なスケジュールを常に検討する他、フリーペーパーや新聞等を有効活用し経費削減に努めている。

・前年同様、ホール等の大規模諸室で利用終了後の照明・空調を速やかに落とす、アトリウム内の必要照度以上の400W水銀灯の取り外し、館内2階廊下部分の吹き上げ空調の停止等、日常的な節電行動の継続を図った。また、今年度は前年度と違い緊急事態宣言発令に伴う臨時休館期間はなかったこともあり電力使用量が増加したものの、節電対策実施前(東日本大震災による)の平成22年度比で施設全体(北区役所、北区図書館、その他)80.6%、その他のみ(北区役所、図書館を除いた部分)は82.3%となった。

##### ●適正な管理運営の確保

・施設内の安全を最優先に、迅速な修繕・各種法令の遵守に努めた。

・前年同様、個人情報保護及びリスク回避に関する研修、ITセキュリティ教育、コンプライアンス講習、リスクマネジメント研修、労務管理研修、SDGsセミナーを受講し、危機管理意識の強化を図った。

・総合インフォメーションカウンターでの事件発生時の対応フローは定期的に周知を行い緊急時に備えている。

・消防訓練は新型コロナウイルスの影響で書面開催とし、救急救命講習は中止としたが、消防設備訓練は例年通り実施した。

・予防保全として電気設備機能維持のため、蓄電池設備の整流器部品交換を4月に実施した。

・次年度以降に水景設備(噴水)で井水の濁度が基準値を越える場合の対策として、上水のみで運用対応出来るよう水景設備制御盤内変更修繕を10月に実施した。

・予防保全として3月に駐車場発券機・精算機摩耗部品交換修繕を実施した。

・消防設備および建築設備機能維持のため、誘導灯と非常照明のバッテリー交換を3月に実施した。

#### (2) さいたま市の評価(評価担当課:スポーツ文化局文化部文化振興課)

##### 総合評価 (B) ※A~D

##### 1 項目別の評価

###### (1)「市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進」に対する評価

・新型コロナに伴う、新しい生活様式を踏まえ、動画配信を開始するなど、市民サービスの向上に努めていた。

・利用者からの意見に基づき、貸出備品運用の見直しを行い、市民サービスの向上に努めていた。

###### (2)「経費の削減」に対する評価

・新型コロナ感染防止対策を継続しつつ、節電を意識するなど、効果的な方策を検討し、適切に経費の削減に努めていた。

###### (3)「適正な管理運営の確保」に対する評価

・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、例年とは異なる管理運営が求められたが、適切に行われていた。

##### 2 総合評価

事業計画に沿って、適正に施設運営が行われている。

#### (3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き、利用者の目線に立ってニーズの把握を行い、利用者満足度の向上を図るとともに、安心・安全な施設の維持管理に努めること。